

令和7年度 明道小学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立明道小学校		校長名	坂元 恵美子	
学級数	15学級	児童生徒数	206名	職員数	37名
教育目標	心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成				

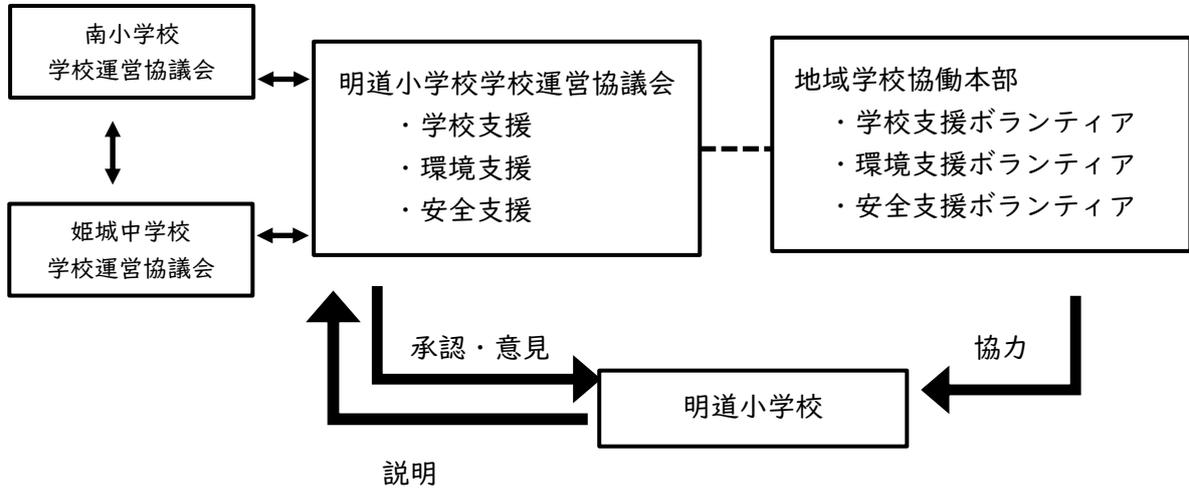
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員（計7名）・事務局（計3名）

学校運営協議会委員	No.	所属名（役職）	氏名	備考
	1	姫城地区自治公民館連絡協議会会長	柿木原 康雄	会長
	2	姫城地区民生委員副会長	前田 真也	
	3	南九州大学人間発達学部教授（学生部長）	宮内 孝	
	4	西町自治公民館長	本藪 秀三	
	5	姫城地区主任児童委員	柚木崎 裕子	
	6	明道フレンドシップ主任	竹田 正紀	
	7	明道小学校PTA会長	酒井 陽介	

事務局	役職	氏名
	校長	坂元 恵美子
	教頭	日高 茂
	教務主任	西 慎吾

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
3月～5月	学校運営協議会委員の人選、依頼
6月 4日	第1回学校運営協議会（委嘱状交付、参観授業、学校運営協議会概要説明、役員選出、学校経営方針説明、年間計画）
9月16日	第2回学校運営協議会：姫城中校区3校合同（3校の取り組みについて）
12月 5日	第3回学校運営協議会（参観授業、学校評価アンケートについて、情報交換等）
1月16日	第4回学校運営協議会（参観授業、学校関係者評価、給食試食会）
2月12日	第5回学校運営協議会（参観授業、1年間のまとめ）

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

9月：登下校の見守りや教育活動における地域と学校との関わり

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

ア 環境支援

- 8月にPTA奉仕作業を実施した。延べ100名の親子が参加し、校舎内の窓ふき、扇風機の清掃等を行った。職員だけでは難しい作業なので、学校にとって大変ありがたい活動となった。運動会では、あさぎり会（OBを含めた父親の会）が早朝より大竹を用いた装飾物の設置を行い、運動会に色を添えた。加えて、正月の門松作りにも尽力していただいた。

イ 安全支援

- 見守り隊の方々には、登下校時の交通指導及び見守り活動を通年実施していただいた。登下校の見守りに加え、児童の様々な情報を提供して下さった。ボランティアの方々との対面集会で全校児童による見守りのお願い、そして年度末には感謝集会を行った。

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

教育課程の質的向上と社会に開かれた教育課程の実現に向け、外部人材を積極的に招聘した学習活動を行った。具体的には、福祉体験、歴史学習、食育、科学、スポーツ等の各分野において専門家を講師として招き、専門的な指導を受ける授業を実施した。



【シェフによる味覚の授業】



【建設業協会出前授業】

特に建設分野においては、建設業協会の主催で、学校内での出前授業に留まらず、実際の工事現場を

活用した実地研修を実施した。この取組は、協会側からの提案を受けた形で実現した双方向の連携である。児童にとっては専門技能やキャリア観に触れる貴重な学びの場となり、協会側にとっては業界の社会的意義を周知する機会となるなど、双方にとってメリットのある活動となった。

(3) 地域貢献活動

地域から児童や保護者、学校職員へ、各種行事への参加依頼があった。島津発祥まつりへは、児童15名、職員4名が参加し、島津邸から神柱公園までパレードした。その他にも、島津灯ろう祭り、姫城ふれあい文化祭等にも、多数の児童や保護者、学校職員が参加した。



【明道館パレード】

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 福祉や食育、科学等の専門家を招いた授業を展開できた。特に建設業協会との連携では、現場体験を通じて児童がキャリア観を深めると同時に、業界の意義を周知する「双方にメリットのある活動」を実施することができた。
- 「あさぎり会」による環境整備や「見守り隊」による通年の交通指導など、地域住民の協力により、職員だけでは困難な環境維持と児童の安全確保が実現できた。
- 姫城中校区3校合同の協議会は年1回であるため、小中一貫した視点で地域全体の子どもを育てる視点から、3校との日常的な情報共有をより深めていく必要がある。
- 地域人材の継続的な確保と体制の維持が課題である。また、実施された学校評価の結果を、単なる振り返りに留めず、次年度の具体的な教育活動の改善へと確実に反映させる仕組みづくりが求められる。

7 次年度の方向性

- 「地域と学校の双方にメリットのある活動」をモデルに、外部講師を招いた学習を継続・拡充を行う。専門的な指導を通じて児童のキャリア観を育み、社会に開かれた教育課程のさらなる充実を図る。
- 姫城中校区3校の合同協議やボランティアとの連携を基盤に、小中が連携した見守り体制を模索していく。さらに、地域行事への参画も継続し、地域社会と学校が一体となって児童を育む持続可能な協働体制の構築を目指していく。